

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「 繊維製品 」	新版テキスタイル製品 (実教出版)	2単位	繊維科・第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	繊維及び繊維製品に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
---------	--

2 学習計画及び評価方法等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学 期	1 その他の合成繊維	4	・ビニロン、ポリ塩化ビニルなどについて学習する。	中 間
		5	・ポリウレタン・炭素繊維などについて学習する。	
	2 繊維の改質	6	・異形断面、複合繊維などについて学習する。	期 末
3 糸の種類	7	・糸の種類と形態について学習する。		
2 学 期	4 糸の構造	8	・糸の繊維(太さ)について学習する。	中 間
		9	・糸のよりについて学習する。	
	5 布	10	・布の種類と特徴について学習する。	期 末
	6 織物組織と構造	11	・三原組織について学習する。	
	12	平織、斜文織、朱子織について学習する		
3 学 期	7 変化組織と構造	1	・変化組織について学習する。	学 年 末
	8 織物と被服	2	・織物組織と被服について学習する。	
		3		

3 評価規準及び評価方法

(5) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評 価 基 準	様々な繊維製品について、その名称や分類、特徴・歴史など多方面の知識を持ち、各素材のテキスタイルデザイン上の特性や用途などを踏まえて理解している。	各繊維製品の特徴や素材、製造技術や用途などに関して、常に工業的及びデザイン的な視点から検討を加え、問題提起しまた解決する力を身に付けている	各繊維製品の製造やデザイン上の用途に関する知識や技術の向上を目指して、自ら学び、繊維産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

(6) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方 法	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習課題等で総合的に評価する。	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習等の記述内容や発表内容及びレポートや班別活動、プレゼン内容等で総合的に評価する。	振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要なもの、教科書、ノート、パソコン等の準備物を忘れないようにしてください。 ・ノート、課題等の提出は、期限を厳守してください。 ・学習内容の予習・復習をしっかりと取り組んでください。
--